

82年度
才2期 7月~9月
テーマ：仲間意識

8月は、「病気」を通して考える

夜間学校ニュース

金ヶ崎夜間学校
西成区萩ノ茶屋二一八一十八
喜望の家気付
ごんね 六四七一三九四六
(木よう日クジし9じ)

病気は、「仲間意識」に

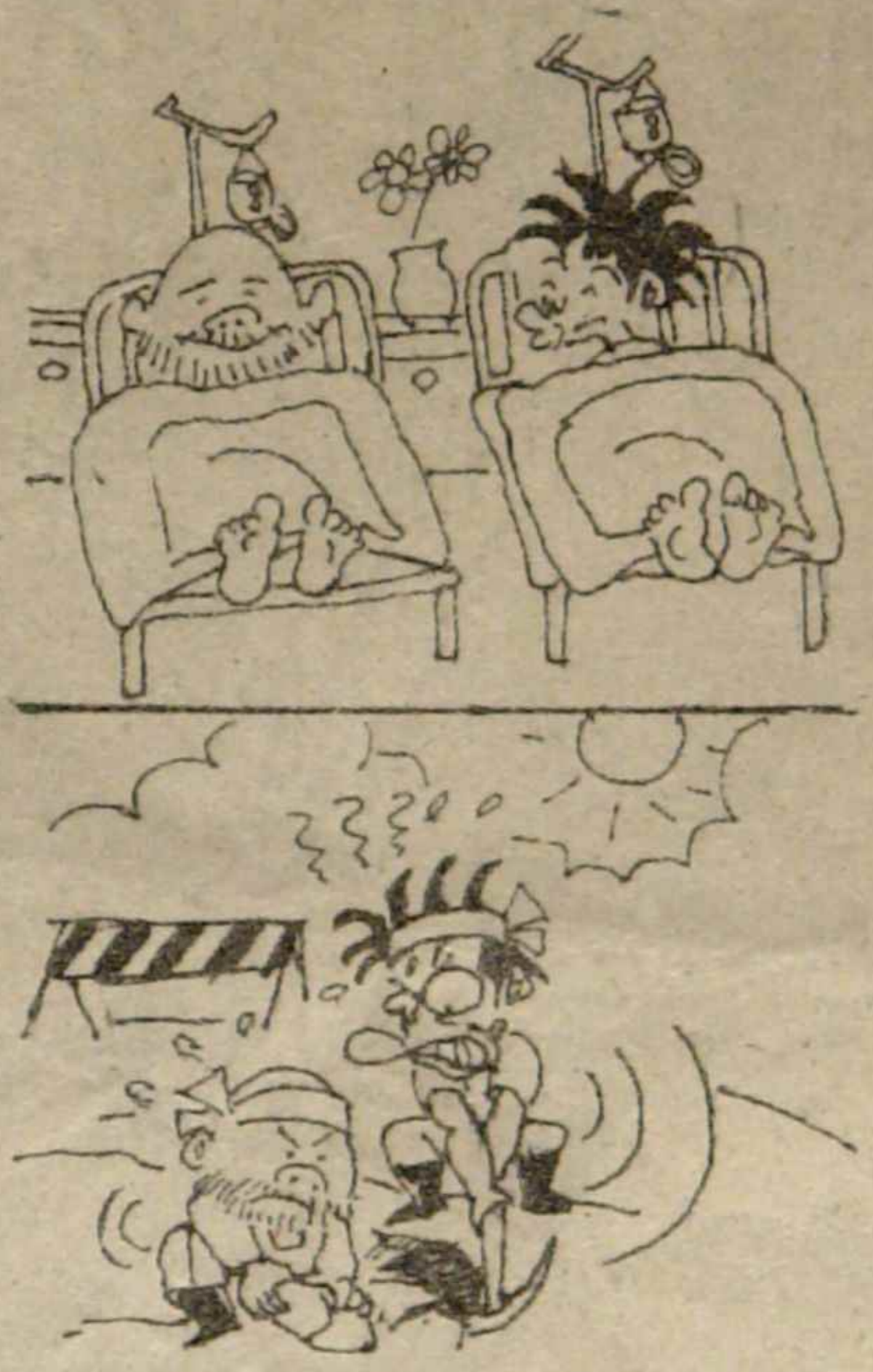
どういふ影響を及ぼすか？

今夜7時より

喜望の家・集會室にて

7月は、「仕事仲間」から「仲間意識」全般にわたって考えをみました。(裏を参照して下さい)その話し合いの中で、今のようない仕事のない時には、金を持っていたら顔見知りの仲間に会っても、見てみぬふりをして通りすぎてしまうという話もありました。また、反面、仕事のない今でも酒をふるまったりふるまわれたり、ドヤ代を

8月は、病気の問題に焦点をあて、病気をもった仲間との関わりや、病気が「仲間意識」にどういふ影響を及ぼすか、についてマインスの面をも含めて一緒に考えてみたいと思っております。今、健康な仲間にとっては、「病気」は自分とは関



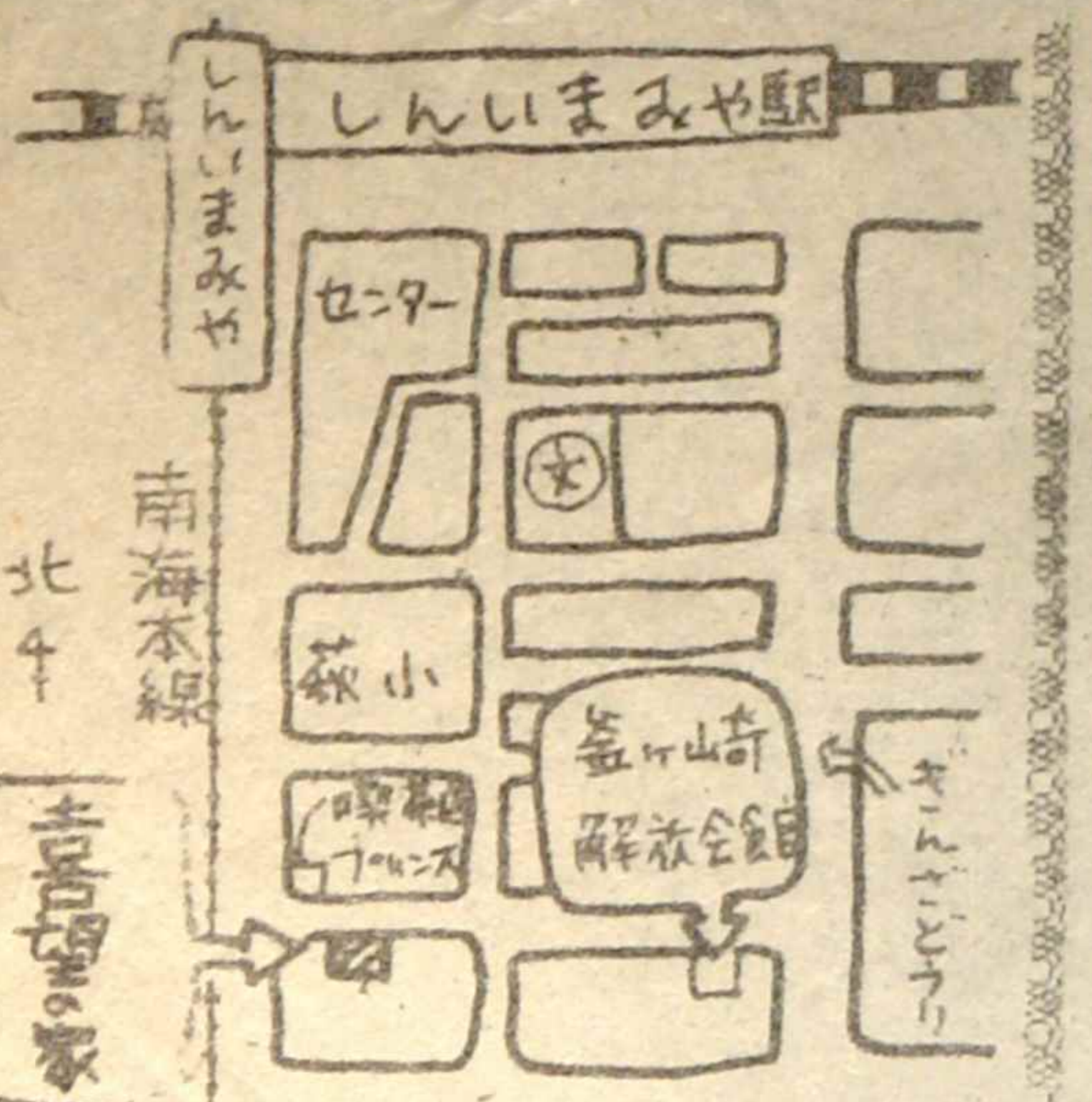
係のないことではなく、不安定な厳しい労働、不十分な食事、青カニ、飲酒など身体を酷使する状況が続く限り、いつ、病気になる

かも知れません。また、労災にあうという危険はいつもついで回っています。「行旅病死」させられていくという現実には誰もが背負っているものとも言えます。特に、今は自分一人が生きていくのが精一杯だという状況です。しかし、このような時こそ、より「仲間意識」について向い直すことが必要なのではないでし

ようか？
仲間との関わりの中で、身体を治していく、あるいは、病気にならないように心がけることが必要だと思われまます。このよう

な積極的な関わりの中でこそ、病気の問題についていえるは、市更相や病院の問題を解決していく力が生まれてくるのだと思います。

お知らせ
次週、8月12日(木)の夜間学校は、夏祭り合流のため、休みます。三南公団で会いましょう!!



仕事仲間まとめ

仲向を感じる時

仲向を感じない時

現場・飲場で病気をしたとき
 請け取りの飲場で
 失敗したとき、いっしょに働いてる人がうまく、とりつくりつてくれた
 時間にせまられ、みんながいっしょけんめい仕事をやりとげたあと

みんな、ゼニをかせぎにくるのが現実やし、そこをはなれたら、何のケンケイもなくなる
 オマジの前だけええカッコするやつも信用でけん
 三日で、人のもの持ってトッコするのもあるし
 会社のやり方に、何を言ってもムカやというアキラメがあるし、いっしょに働いてる仲間にも、同じようなアキラメがある

会いちばん切実なこと

仕事がない

夫出しのこと



仲向いつても仕事がないときはしんどい

たれから仕事が入るんや

たれでもたんもかわらん

センターで出張のくじびきして

センターで準備下げて仕事たのんでるらしい

ピンハネ

みんなが行かんようになったらケタオチ人夫出してもなくなるんや

人を喰らうことばかきまえてる

行政にみんなで交渉や

要求はあるけどからだがつかしてまでやるやつはあらん

ピンハネいつてもあかんや

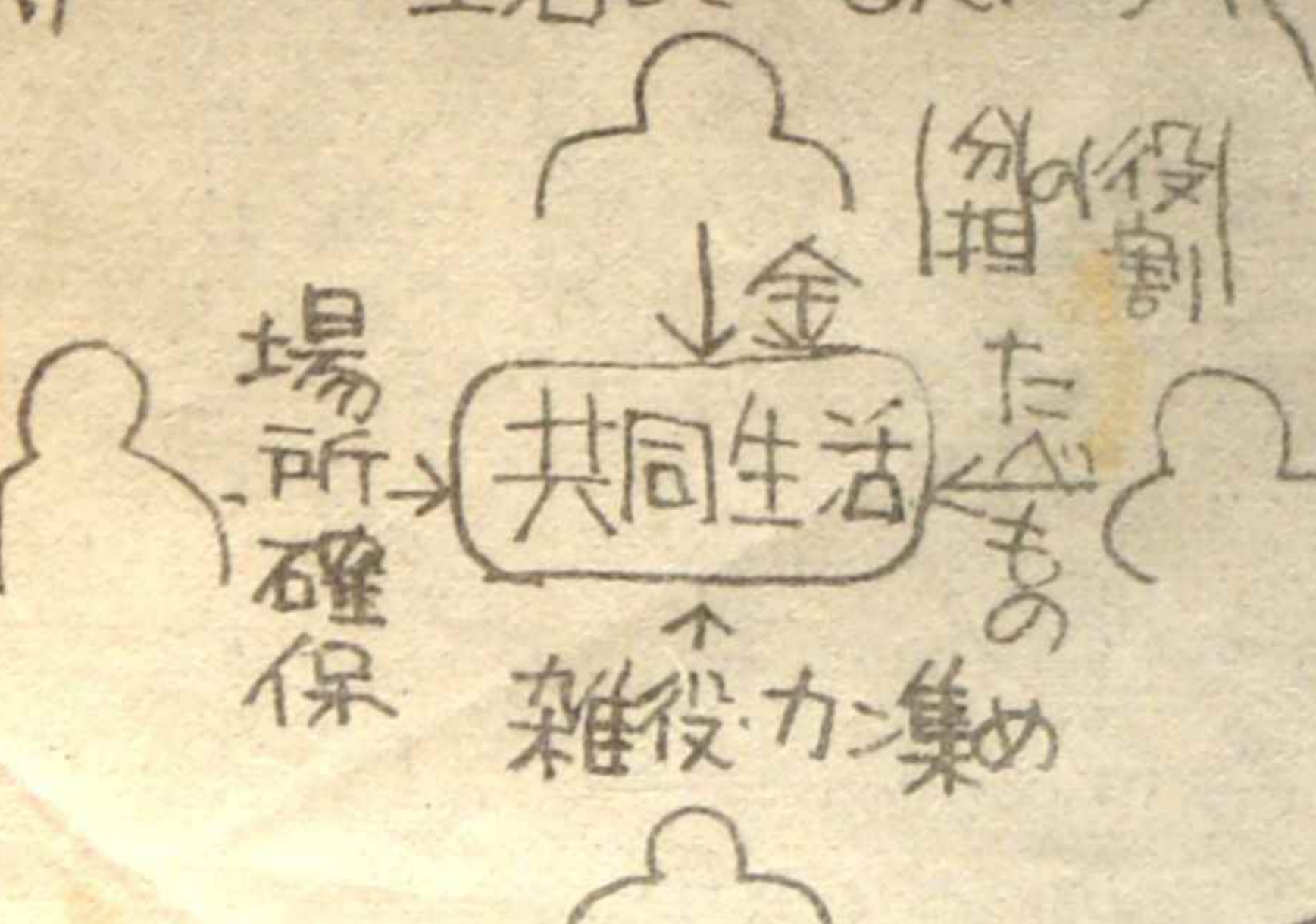
ケタオチ人夫出しにはオシは行かん行かんからええんや

なにが?

差別をうけたとき
 弾圧をうけたとき

茶臼山の仲間生活している人たち

7/27のセンターの話



労働者なんかおらんでもわしは、スナックやってるからええんや
 車
 だれのあかぎで、スナックもてたんや
 労働者のあかぎ
 車ひきりかす
 前にも
 逃げ

みんなが力をあわせ
 気持ちをあわせ
 たちあがるのはために
 この力はなんなの
 みんなをむすびつけ
 るのは、なんなのか